

- 問1 福岡県内の主要都市を比較した際、福岡市は県全体の面積割合が約6.9パーセントであるのに対し、人口割合は約31.4パーセントを占めています。このような都市の状況を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。（2023年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 県全体の面積に占める割合が大きいため、人口が多くても人口密度は低く保たれている。 | 2. 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。 | 3. 面積割合に比べて人口割合が低いため、都市部でも過疎化の問題が顕著になっている。 | 4. 広大な面積を活かして人口が分散しており、県内各地で均等な人口割合となっている。 |
|---|---|--|--|
- 問2 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。 | 2. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。 | 3. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。 | 4. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。 |
|--|---|--|---|
- 問3 日本の畜産業において「宮崎牛」に代表されるような取り組みが行われている理由を、市場の状況から説明したものとして正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--------------------------------------|
| 1. 安価な外国産の肉の輸入増加に対し、品質の向上による差別化で対抗するため。 | 2. 外国産の肉よりも価格を安く設定し、低所得者層向けの市場を開拓するため。 | 3. 国内の肉の消費量が急激に減少したため、生産量を減らして希少価値を高めるため。 | 4. すべての国内産の肉を同じ名称で統一し、消費者が選びやすくするため。 |
|---|--|---|--------------------------------------|
- 問4 九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。 | 2. 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。 | 3. 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。 | 4. 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。 |
|--|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 宮崎県などの温暖な気候を利用する地域で盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何といいますか。（2023年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 有機農業 | 3. 近郊農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。 | 2. 火山灰が積み重なってきたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。 | 3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。 | 4. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。 |
|--|---|---|--|
- 問7 ある県の農業統計において、第1次産業の就業人口割合が高く、農業産出額の上位3品目を肉用牛、豚、ブロイラーが占めている地域があります。この県における農業や土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 1. 米の産出額が最も多く、広大な平野を利用した単作地帯が形成されている。 | 2. 近郊農業が発達しており、鶏卵や野菜などの生産が産出額の大部分を占めている。 | 3. 耕地面積に占める畑の割合が極めて高く、広大な土地を活用した畜産が非常に盛んである。 | 4. 生乳や乳製品の生産額が全国1位であり、冷涼な気候を活かした酪農が行われている。 |
|---------------------------------------|--|--|--|
- 問8 九州地方には阿蘇山や桜島などの活火山が多く存在しますが、これらの火山活動による地下の熱を利用した発電方法を何といいますか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 水力発電 | 2. 原子力発電 | 3. 地熱発電 | 4. 火力発電 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問9 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。 | 2. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。 | 3. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。 | 4. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。 |
|--|---|---|--|
- 問10 九州地方の熊本県に位置し、火山の噴火によって形成された世界最大級の凹地（盆地状の地形）である「カルデラ」を持つことで知られる活火山を選びなさい。（2016年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 雲仙岳 | 2. 桜島 | 3. 阿蘇山 | 4. 霧島山 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問11 九州地方における集積回路（IC）の工場分布の特徴を述べた次の文章において、空欄に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。「九州の地図上で工場の分布を確認すると、それらは主に（ ）の周辺に密集している。これは、製品が小型軽量で付加価値が高いため、輸送コストよりも輸送の速さが重視されるからである」（2016年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|---------------|-------------------|------------|
| 1. 原料が採掘される山間部 | 2. 大規模な貿易港や運河 | 3. 広大な土地が確保できる干拓地 | 4. 空港や高速道路 |
|----------------|---------------|-------------------|------------|
- 問12 日本の諸地域に関する統計において、人口が約1400万人を超え、農業生産額が約1.9兆円に達し、年間商品販売額も中国・四国地方を上回る規模を持つ地方はどこですか。（2023年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 中国・四国地方 | 2. 近畿地方 | 3. 東北地方 | 4. 九州地方 |
|------------|---------|---------|---------|
- 問13 九州地方を扱った地理の学習において、大分県の特徴をまとめた説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。 | 2. 九州地方の北部に位置し、北九州工業地帯を中心とした重化学工業が県の経済を支えている。 | 3. 九州地方の中央部に位置し、阿蘇山のカルデラや広大な農業地帯での畑作が盛んである。 | 4. 九州地方の南東部に位置し、温暖な気候を利用したピーマンやキュウリの促成栽培が行われている。 |
|--|---|---|--|